

東海・近畿ブロック農業大学校学生研究及び意見発表会を開催

1月18日、学生が日頃の学習成果を交換し、農業への意欲を高めるとともに、相互に研鑽を積むことを目的として、東海・近畿ブロックにある農業大学校9校の代表学生による発表会を開催しました。今回は9年ぶりに本校での開催でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のために、ウェブ会議システムを用いて行いました。

本校からは、研究発表の部に2学年野菜専攻の中井義仁さん、意見発表の部に1学年果樹専攻の平澤万純さんが発表しました。

中井さんは「トマトの仕立方法変更による課題改善へ向けた取り組み」と題し、果実の大玉化と灰色かび病の発生抑制について発表しました。平澤さんは「受け取る準備ができると与えられる」と題し、実習助手とGAP審査員を目指す熱い思いを語りました。



＜研究発表の部：中井義仁さん＞



＜意見発表の部：平澤万純さん＞



＜大会運営する学生たち＞



＜ウェブ会議の様子＞